

第35回社会言語科学学会研究大会 プログラム

◎1日目 2015年3月14日(土)

9:30	受付開始〔9号館1F 入口付近〕
10:00	開会
10:00-11:40	研究発表(口頭発表) セッション1〔9号館1F 9101教室〕 セッション2〔9号館1F 9102教室〕 セッション3〔9号館1F 9103教室〕
11:40-13:00	昼休み(理事会)
13:00-13:05	開催校ご挨拶〔23号館 23101教室〕 佐々木能章 学長補佐
13:05-13:45	大会発表賞授賞式〔23号館 23101教室〕 徳川賞授与式および記念講演 ○優秀賞 「親族間で用いられる他称詞の運用—話題の人物を捉える視点と表現形式—」 『社会言語科学』第16巻 第1号 109頁~126頁 小森由里(国際基督教大学) ※現在の所属は国際基督教大学・立教大学 ○萌芽賞 該当論文なし
13:45-14:00	休憩
14:00-17:00	シンポジウム〔23号館 23101教室〕 「共生の言語・コミュニケーションは可能か」 発題者:小川珠子(中国帰国者定着促進センター) 「中国帰国者の今—ことばの問題を中心に—」 嶋 ちはる(国際教養大学) 「外国人看護・介護人材の受け入れと課題」 高橋清樹(NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ) 「外国につながる子どもの自立と社会参加に向けての言語環境とその課題」 堀 永乃(一般社団法人グローバル人財サポート浜松) 「外国人集住都市における人財育成—20年、30年後の浜松のために—」 ディスカッサント:村岡英裕(千葉大学) 企画担当:岩田一成(聖心女子大学), 浜田麻里(京都教育大学) 司会:浜田麻里(京都教育大学)
17:30	懇親会〔同窓会館(72年館)〕

◎2日目 2015年3月15日(日)

10:00	受付開始〔9号館1F 入口付近〕
10:30-11:45	研究発表(ポスター発表)〔24号館1階ラウンジ・2階ホワイエ〕
11:45-13:00	昼休み(各委員会)
13:00-15:50	研究発表(口頭発表) セッション4〔9号館1F 9101教室〕 セッション5〔9号館1F 9102教室〕 セッション6〔9号館1F 9103教室〕 セッション7〔9号館1F 9104教室〕

◎口頭発表

○1日目 2015年3月14日(土)

・セッション1 [9号館1F 9101教室] 司会:柳田 直美(一橋大学)

10:00-10:30	宮窪手話の「数」に関する表現 ー日本における危機言語ー  平 英司(関西学院大学), 矢野 羽衣子(無所属), 松岡 和美(慶應義塾大学)
10:35-11:05	外来語が新たに獲得しつつある社会言語学的機能 ー異なる発話場面における既存語との使い分けにみるー  久屋 愛実(University of Oxford (UK))
11:10-11:40	偏った頻度分布はどこに宿るか? ー表層パターンの分布分析に基づく統語発達に関する一考察ー  吉川 正人(慶應義塾大学)

・セッション2 [9号館1F 9102教室] 司会:大場 美和子(昭和女子大学)

10:00-10:30	フォリナートークに対する意識についての一考察 ー日本語母語話者と日本語非母語話者の語りから見えてくることー  嶋原 耕一(東京外国語大学)
10:35-11:05	在カナダ日本人親の英語話者が参与する状況における言語行動意識  秋山 幸(早稲田大学)
11:10-11:40	ナラティブの協同構築による自己開示 ー英語会話と日本語会話の比較ー  岩田 祐子(国際基督教大学)

・セッション3 [9号館1F 9103教室] 司会:坊農 真弓(国立情報学研究所)

10:00-10:30	<b>What Is Left, What Is Passed on: Transformation and Sustainment of Indigenous Culture through Communicative Multiple Literacies</b>  長谷山 康一(Simon Fraser University)
10:35-11:05	<b>The Australian</b> の中の日本 ー国際司法裁判所における調査捕鯨の違法判決報道と読者のコメントの分析ー  山口 征孝(The University of Queensland)
11:10-11:40	ニューハーフの彼女を親に紹介するために ー社会的言説との関係において行われるアイデンティティの再カテゴリー化ー  松谷 優花(大阪大学)

○2日目 2015年3月15日(日)

・セッション 4 [9号館 1F 9101 教室] 司会：橋本 直幸(福岡女子大学)

13:00-13:30	「反論」における日本人英語学習者のHedgeの使用について 野澤 佑佳子(早稲田大学)
13:35-14:05	「改まり」とは何か —指標性の観点から考える言語表現の社会的意味— 李 址遠(早稲田大学)
14:10-14:40	親密な関係性では不満はどのように表明されるか —中国人夫婦・日本人夫婦の比較— 呉 雪箏(金沢大学)
14:45-15:15	日本語とスワヒリ語における「勧誘の断り」の対照研究 —断り後の展開に着目して— 中垣 友江(大阪大学)
15:20-15:50	「ゲームの説明と準備」という活動における「冗談」 —ラポールの維持・強化と成員性に着目して— 臼田 泰如(京都大学・日本学術振興会)

・セッション 5 [9号館 1F 9102 教室] 司会：生天目 知美(東京海洋大学)

13:00-13:30	<b>The Organization of Turn-Taking in a University Language Lounge</b> バターフィールド ジェフリー(神奈川大学)
13:35-14:05	次話者として選択されていない会話参加者の発話権の取得 山岸 宏明(早稲田大学 修士課程修了)
14:10-14:40	接触場面における共同発話 大久保 加奈子(京都府立大学)
14:45-15:15	三者間の共同作業における言語行動の日露対照分析 —発話の重なりに着目して— Tsoy Ekaterina(東京外国語大学)
15:20-15:50	日本人と外国人の英語による初対面会話における関係性の構築 —Japan/Japanese (+NP) をめぐる相互行為の分析— 山本 綾(昭和女子大学)

・セッション 6 [9号館 1F 9103 教室] 司会：榎本 剛士（金沢大学）

13:00－13:30	<b>連鎖をつなぐ資源</b> －語りにおける先行ジェスチャーの繰り返しについての会話分析研究－ 安井 永子(名古屋大学)
13:35－14:05	<b>確認要求に用いられる認知的スタンス標識としての「なに」について</b> 遠藤 智子(筑波大学), 横森 大輔(九州大学), 林 誠(イリノイ大学)
14:10－14:40	<b>他者開始修復連鎖においてものを「知らない」ことはどう扱われるか</b> 平本 毅(京都大学)
14:45－15:15	<b>ほめとして理解可能な発話に対する聞き手の「そうですか?/そう?」の応答の分析</b> 張 承姫(関西学院大学・日本学術振興会)
15:20－15:50	<b>マルチアクティビティとしての歯科診察</b> －関与配分の相互行為的調整－ 坂井田 瑠衣(慶應義塾大学), 諏訪 正樹(慶應義塾大学)

・セッション 7 [9号館 1F 9104 教室] 司会：関崎 博紀（筑波大学）

13:00－13:30	<b>在日中国人留学生同士による中国語ベースの会話におけるコードスイッチング</b> －機能的分析を中心として－ 李 敏(立命館大学)
13:35－14:05	<b>現代韓国語における`-a/e tulita(～てさしあげる)`に関する一考察</b> －利益・不利益の観点から－ 金 アラン(上智大学)
14:10－14:40	<b>中国人日本語学習者における「～テモラウ」文の言語形式の使い分け</b> －依頼機能を中心に－ 張 麗(広島大学)
14:45－15:15	<b>敬語表現としてのテモラウ文の日韓対照研究</b> －「道案内」の調査を通して－ 林 世涓(筑波大学)

◎ポスター発表

○2015 年 3 月 15 日 (日) 10:30-11:45 司会: 安井 永子 (名古屋大学)

[24 号館 1 階ラウンジ]

P-01	<b>ブラジル人日本語学習者による不同意の特徴</b> 堤 涼子(広島大学), 岡崎 渉(広島大学)
P-02	<b>授受補助動詞テクダサルとテイタダクの意味の異なり -与え手に感謝を述べる場合-</b> 京野 千穂(名古屋大学)
P-03	<b>漢字連続長が文章の読みやすさに及ぼす影響</b> 杉山 美智子(東京女子大学), 小田 浩一(東京女子大学)
P-04	<b>自閉症スペクトラムをもつ人との会話の協調 -初対面会話のフレーム分析を通して-</b> 合崎 京子(立教大学)
P-05	<b>中国人留学生の無料通話アプリケーションに見られる日本語 -スマートフォンでのWeChatとLINEに焦点をあてて-</b> 佐々木 泰子(お茶の水女子大学)
P-06	<b>中国人日本語学習者は親しい友人間における「配慮」をどのように捉えているか</b> 山本 裕子(中部大学), 王 源(外交学院), 本間 妙(中部大学)

[24 号館 2 階ホワイエ]

P-07	<b>対人関係におけるほめ内容尺度・ほめ機能尺度の作成</b> 澤口 右京(目白大学), 渋谷 昌三(目白大学)
P-08	<b>日常会話における話題の転換を促す認知的要因</b> 岡本 雅史(立命館大学), 北野 藍子(立命館大学)
P-09	<b>課題遂行対話における相互行為プロセス -英語母語話者と日本人英語学習者はどのようにグラウンディングを成立させるか-</b> 谷村 緑(京都外国語大学), 吉田 悦子(三重大学), 仲本 康一郎(山梨大学), 竹内 和広(大阪電気通信大学)
P-10	<b>ムラブリ語における「男ことば・女ことば」の再解釈 -変種間の「捻れた」対応から-</b> 伊藤 雄馬(京都大学・日本学術振興会)
P-11	<b>フランコプロヴァンス語の再活性化と言語意識 -フランスのプレス地方の例-</b> 佐野 彩(一橋大学)
P-12	<b>Using English-as-an-international-language in the workplace: Problems faced by Japanese business people</b> 相川 弘子(上智大学)